



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

## 西陣織の魅力を拓く 和風アイテム

### 伝統技術のコラボレーション

和装市場が縮小していく中、西陣織というブランドを生かしながら、何か新しい取り組みができないだろうか…。そう考えて、オリジナル柄の帯の裂地に華やかな水引細工を組み合わせたブローチや髪飾りを開発。西陣織会館のセレクトショップ等で販売したところ、インバウンド客を中心に好評だったことから、本格的に販路拡大に取り組みたいと考えていました。こうした中、京商の経営支援員から昨年、「事前マッチング型商談会」の紹介を受けて、この事業に挑戦。支援員から、バイヤーから商談を勝ち取れるようきめ細やかなアドバイスを受け、どんな商品をどんなふうに売りたいのかを念頭に、「バイヤーに響く」提案ができました。また、商談会でも支援員にも同席してもらって本当に、心強かったです。おかげで、今回、日本百貨店との取引が始まったほか、セレクトショップの限定催事などにも出店でき、これからの市場開拓に大きな手応えを感じています。

### 展示会への出展で商機拡大

今年2月には、渋谷で開催された「京都知恵産業フェア」に初出展しましたが、その際、全国主要百貨店の各売場に200通以上のDMを事前送付するなど、自社ブースに足を運んでもらえるよう積極的にアピールしました。期間中、DMを見たバイヤーさんが来てくれたほか、首都圏を中心としたセレクトショップや体験ツアーを企画する旅行会社などとの出会いがあり、ビジネスチャンスの芽が膨らんでいます。ただ単に展示会に出展して終わり…ではなく、こちら側から商品やサービスの魅力を発信し、埋もれたお客様を掘りおこしていく努力も必要だと思えますね。

今、西陣織を支える職人さんが高齢化し、後継者も不足しつつあります。これからも販路開拓や商品開発などで京商の支援メニューを活用し、新たな市場を創造することで、京都の織物業界が元気になれるような仕組みづくりにつなげていければと考えています。

「京都知恵産業フェア」への出展をきっかけに、京都のバッグメーカーと異業種コラボが実現し、当社のオリジナル生地を使ったポシェットの開発につながりました。今後は、新ブランド「京美真心」のホームページを充実させ、西陣織の新たな魅力を多くの人たちにに向けて発信できればと考えています。



代表取締役 五島 博也さん(右)  
五島 綾子さん(左)

### 企業概要



1000種類以上あるオリジナル柄を活用し、西陣織の帯地の企画・製造・卸販売を手がける。なかでも、漉いたような風合いの絹を草木染めにして仕上げた染帯は、若者向けのおしゃれ帯として人気。新ブランド「京美真心」では西陣織の裂地を使ったブローチや髪飾り、バッグなどを提供。西陣織の新たな可能性に挑戦する。

### 株式会社やまひで

代表者／五島 博也  
住 所／京都市北区紫野西野町1-2  
T E L／075-432-6777 U R L／<https://www2.hp-ez.com/hp/yamahidekyoto/>